

## 2 嬉野市の学校評価の進め方

「嬉野市の学校評価P D C Aサイクル」をスケジュール例として示します。取りまとめの時期から逆算し、順序、回数等は各学校の実情に合わせて設定し、学校評価活動スケジュールを作成します。また、評価育成システムと連動させることによって組織力が格段に向上します。

時期	P D C Aサイクル	学校での評価活動	学校関係者 評価委員会	評価育成 システム
4月	<b>P</b> PLAN	○評価活動計画作成	3 第1回学校関係者評価委員会 (説明)	自己目標設定
5月		1 目標設定		ヒヤリング
6月	<b>D</b> DO	2 情報提供(通年)	4 実行・実践(通年)	修正
7月		3 実行・実践(通年)		実践
8月	<b>C1</b> CHECK	4 中間外部アンケート	5 第2回学校関係者評価(中間評価)	ヒヤリング
9月		5 中間自己評価		追加修正
10月	<b>P</b> <b>D</b>	中間改善・修正	6 実態把握のための外部アンケート	実践
11月		中間評価結果の公表		自己評価
12月	<b>C2</b> CHECK	※ □は学校裁量の取組	7 学校自己評価の実施と評価表の作成	ヒヤリング
1月		1' 目標等の修正		総合評価
2月	<b>A</b> ACTION	3' 実行・実践	8 第3回学校関係者評価(最終評価)	次年度へむけて
3月		6 実態把握のための外部アンケート		
4月	<b>P</b> PLAN	7 学校自己評価の実施と評価表の作成		
		9 改善策の立案と総括評価表の作成		
		10 公表と教育委員会への報告		
		番号は、第2章の小項目に対応		